

## 第1回 伊勢市就学前の子どもの教育・保育に関する検討委員会 会議要旨

日時 平成24年2月20日（月） 15:00～  
場所 伊勢市役所 東庁舎4-2会議室  
出席者 委員：10名（欠席1名）  
事務局：教育長、健康福祉部長、教育部長ほか

### 1 委員委嘱・辞令交付

宮崎教育長から各委員へ委嘱状・辞令書を交付。

### 2 教育長挨拶

（会議途中において市長挨拶）

### 3 委員・事務局紹介

### 4 設置要綱及び目的について

「伊勢市就学前の子どもの教育・保育に関する検討委員会設置要綱」について事務局より説明。

会議を原則公開としていくこと、会議録をホームページへ掲載する等公開していくことについて委員の承認を得た。

### 5 委員長・副委員長選出

委員から事務局案の提示を求める発言があり、委員長に深草正博委員を、副委員長に田口鉄久委員を選任する案を提示。委員の承認を得て事務局案で決定した。

### 6 議事

#### （1）伊勢市における教育・保育の現状と今後の課題について

事務局から、伊勢市における就学前児童の状況、現行の「伊勢市の就学前の子どもの教育・保育に関する整備方針」及び「伊勢市の就学前の子どもの教育・保育に関する施設整備計画」について資料に基づき説明。

#### （2）「子ども・子育て新システム」について

事務局から、国において検討されている「子ども・子育て新システム」について概要を資料に基づき説明。

#### （3）整備方針策定スケジュールについて

事務局から、平成24年12月までに検討委員会を7回開催し、平成25年1月には検討委員会からの提言をいただき、平成25年度において伊勢市としての整備方針・計画を策定していきたい旨を説明。

## 7 その他

### (1) 就学前の教育・保育講演会について

事務局から、平成24年3月11日(日)に開催する「就学前の子どもの教育・保育講演会」について案内。

#### 【委員からの主な意見】

○次世代育成支援対策行動計画とは直結していることであり、それを踏まえて考えていきたい。

○このような地域密着の会議での意見を吸い上げていくことが大事である。

○現行の施設整備計画におけるケース別の方針で、決着しているケースとこれからのケースがある。公立幼稚園の3年保育についても未解決である。

○幼保一体化(こども園化)に対する市の取り組みをいかにしていくかがこれからの課題である。

(事務局)

国で検討されている方向は幼保を一体化した総合こども園である。その中で公の役割はセーフティーネットであると考えている。

3年保育は公私立の区別なく必要であると考えている。

○小学校の統合の計画では津波対策にも考慮されている。保育所も統合し津波対策等を図れないか。沿岸部を優先的に考えてもらいたい。

(事務局)

私立の統廃合までは言及できない。この会議では公立のあり方を中心に検討いただき、公立を考える上で私立のあり方を考えていきたい。

○小学校の統合計画との関連は非常に大事であり切り離して考えることはできない。

○幼保の一元化は国の管轄の違いもあり大きな改革である。保育士と幼稚園教諭の免許の統一といった課題もある。

○幼保の制度に関する知識がなく、説明を聞いても言葉の意味が分からない。資料を見ても理解ができず、会議で意見が言えるか不安である。

(事務局)

専門用語を避けて分かりやすい説明に努める。できる限り資料は事前に配付する。

専門的な意見でなくても保護者の立場としての意見も重要なので積極的に発言をお願いしたい。